

吉和地域では大雪でした

年明けから全国的に各地で大雪となり、県内でも北広島町八幡では1mを超える積雪となっていました。吉和地域でも場所によっては1mに迫る勢いで雪が降り、除雪作業に追われていました。また、凍結、圧雪された路面でのスリップ事故なども発生していました。今後も厳しい寒さや雪によって路面状況が悪化することも考えられますので、スキーやスノーボードなどの観光に来られる方に限らず、吉和地域にお住まいの方々も雪の降る日などの運転には十分注意してください。



また、大雪後の除雪作業につきましても例年全国で事故が多発していますので、十分注意して作業していただくようお願いいたします。今回は、国土交通省ホームページで呼びかけられている、「雪下ろし安全10箇条」をご紹介します。安全に除雪するための10個のポイントがまとめられているので、ぜひ実践していただき作業中のケガなどには十分ご注意ください。

1.安全な装備で行う（最重要！！）



- 安全な装備は、屋根からの転落などの事故を未然に防ぎます。
- 安全帯は、腰全体を支えるハーネス型や体全体を支えるフルハーネス型を使用。
- 命綱は、ザイルロープなど丈夫なものを屋根の上で止まる長さで正しく結ぶ。
- 命綱の一端は、アンカー（無い場合は雪下ろしをする屋根の反対側の柱や固定物）に**しっかり固定する**。
- ヘルメットは、あごひもを締め、長靴は、滑りにくいものを使用し、動きやすい服装で作業する。
- これらの装備は、ホームセンターや登山キャンプ用品店などで購入できます。

2.はしごは固定する



- はしごが転倒することがあるため、必ず**しっかり固定する**。
- 足をしっかり固め、ロープや器具を使用。
- はしごは、斜めに立てかけず、屋根に対して**決められた角度**でまっすぐ立てる。
- はしごの長さは、軒先から少し高くかける。
- はしごの昇り降りには注意し、**はしごから屋根に移動するときは特に注意**。
- はしごの上で雪庇を落とすなどの作業は危険なため、絶対にやめましょう。

3.作業は2人以上で行う



- 1人での作業は、事故が発生した際に、発見が遅れる可能性がある。
- 発見が遅れると重大な事故につながる危険性が高くなる。
- 家族や親戚と一緒に**複数人で除雪作業**を行う。
- **近所の方や地域コミュニティと協力**して作業を行う共助による除雪活動も重要。

4.足場の確認を行う



- **屋根の雪止めめ位置を確認**してから作業を行う。
- 落雪に巻き込まれないように、**屋根の上から下ろす**。
- 滑りにくくするよう、雪は少し残して作業する。
- 積っていて気温が高い日は、滑りやすくなるため、特に注意。
- 水路等に転落する事故も増えているため注意。

5.雪下ろしのときは周りに雪を残す



- 屋根から転落した際に、地面、アスファルト、コンクリート等に強打すると、被害が大きくなる可能性がある。
- **落下した場所に積雪があることで被害を軽減**することができる場合がある。
- 屋根の雪下ろしを行う場合は、雪下ろし後に住宅周りの除雪を行う。

6.屋根から雪が落ちてこないか注意する



- 屋根から雪が落ちてくる可能性があるため、住宅の周りで**除雪する際に軒下では注意**。
- 屋根に雪が積もって時間が経つと、氷のように堅くなり、直撃すると非常に危険。
- 新雪や積れて暖かい日のゆるくなった雪は特に注意。
- 屋根雪を人力によらず落下させる落雪式住宅の場合は特に注意。

7.除雪道具や安全対策用具の手入れ点検を行う



- スコップやスノーダンフなどの除雪道具は、雪がつきにくくなるスプレーを使用するなど使いやすくしておく。
- 除雪道具や安全対策用具が古くなり、壊れていないか**定期的に点検**しましょう。

8.除雪機の雪詰まりはエンジンを切ってから棒などで取り除く



- 雪が詰まったときは、必ず**エンジンを切**ってから雪を取り除く。
- つまりを取り除くときは、棒などを使用する。
- **素手で取り除くのは、非常に危険なため絶対やめましょう**。
- テッドマンクラッチ（安全装置）をひもで縛るなど、無効化することによる事故が増えています。絶対にやめましょう。

9.携帯電話を身につける



- 事故が発生したときは、動くことができなくなることがあります。
- **携帯電話を身につけることで、緊急時でも家族や緊急医療機関などにすぐに連絡をとることができ**ます。

10.無理はしない



- 除雪作業は重労働です。**体調が悪いときは、除雪作業を行わない**。
- 作業前には、準備運動を行う。
- こまめに休憩をとりながら作業を行う。
- 寒い屋外での重労働による発作など発症の危険性があるため**無理をしない**。

吉和学園で宮島学園の児童とのチャレンジ学習が行われました！

1月24日(金)に吉和学園にて、吉和学園3・4年生10名と宮島学園3・4年生30名でのチャレンジ学習(交流会)が行われました。今回は宮島学園の児童が吉和学園に来てくれました。午前中には、「雪遊び・雪像づくり」、各学校ごとに作ってきた「よしわ・みやまクイズ大会」を行い、各地域の特徴などを楽しくみんなで考えることが出来ました。午後は、吉和神楽団の皆さんに来ていただき吉和地域伝統芸能の神楽について学習しました。衣装や鬼の面、太鼓などに実際に触れてみることで、約15kg~20kgもの重さの衣装を着た時の動きにくさや鬼の面をつけた時の視界の悪さなどにとっても驚いており、子どもたちにとっても良い体験になったのではないかと感じました。



2月3日(月)から吉和神楽競演大会の前売券販売が開始されます！

2月3日(月)午前10時から春選抜 第25回 吉和神楽競演大会 グランプリのチケット販売が開始されます。吉和ふれあい交流センターでもチケット販売を行います。吉和ふれあい交流センターなどの自由席取扱店では、チラシ裏面に記載されている自由席の前売券の販売のみとなりますのでご注意ください。升席や前方自由席につきましては、直接はつかいち観光協会へ電話申込をお願いいたします。また、自由席取扱店では当日券の販売及び、直接受け取ることが当日まで難しいなどの理由でのチケットの置き置きなどが出来ません。置き置き等ご希望の方は、はつかいち観光協会へご相談をよろしくお願ひします。チラシにつきましては、吉和ふれあい交流センターにて配布しておりますのでぜひお越しください。その他ご不明な点は、はつかいち観光協会、吉和ふれあい交流センターへお問い合わせ下さい。



はつかいち観光協会 TEL (0829)31-5656
 吉和ふれあい交流センター TEL (0829)77-2116

吉和学園から2名中学校スキー大会中国・全国大会に出場します！

吉和学園から中学校2年生 渡辺光君と中学校1年生 安藤紗希さんが第46回 中国中学校スキー選手権大会 アルペン競技・第62回 全国中学校スキー大会 アルペン競技へ広島県代表として出場が決定しました。そこで地域の方々が寄付を募り横断幕を製作してくださいました。出場される渡辺君・安藤さんおめでとうございます！精一杯頑張ってください！



吉和の人口(令和7年1月1日)現在				
	総人口	男性	女性	世帯数
	571人	287人	284人	321世帯
先月比	+10	+5	+5	+11